

「線虫学実験法」正誤表 (1/4)

第1章

ページ	行/表/図	誤	正
1	下から8行目	<i>Steinerinema</i>	<i>Steinernema</i>
1	下から8行目	<i>Agamermith</i>	<i>Agamermis</i>
7	参考文献1行目	De Ley, P	De Ley, P.
7	参考文献2行目	(Lee, D. L. ed)	(Lee, D. L. ed.)

第2章

ページ	行/表/図	誤	正
16	ザインホルストII液99.5%エタノール	5.87	466
20	11行目	グリセソ	グリセリン
21	16行目	Glycerol	Glyceel

第3章

ページ	行/表/図	誤	正
27	11行目	3.3	図3.3
27	図3.2 2行目	E:ティレンクス型	D:ティレンクス型
35	図3.9(子宮)	vterus	uterus

第4章

ページ	行/表/図	誤	正
42	12行目	観察子定	観察予定
43	本文9行目	観察できさの	観察できるので
44	写真4.5 下から1行目	排泄孔	排泄口
45	4行目	(4.5G~H)	(削除)
45	13行目	(B)	(削除)
45	16行目	排泄孔	排泄口
46	写真4.6 2行目	排泄孔(2箇所)	排泄口
51	下から6行目	Kaplan, D. T	Kaplan, D. T.
51	下から7行目	<i>Meloidogvne</i>	<i>Meloidogyne</i>
52	1行目	189-195	189-195.
52	3行目	<i>Meloidogvne</i>	<i>Meloidogyne</i>
52	10行目	Kitts, W. D.	Kitts, W. D.
52	下から5行目	Mankau, R..	Mankau, R.,
52	下から5行目	Bell. A. H.	Bell, A. H.
53	9行目	Nordbring-Herz.	Nordbring-Herz,
53	11行目	岡本弘一	岡本好一
53	下から4行目	(<i>Meloidogye</i>)	(<i>Meloidogyne</i>)
54	3行目	<i>Meloidogvne</i>	<i>Meloidogyne</i>

第5章

ページ	行/表/図	誤	正
60	脚注*11行目	プラクソン横線枠付スライドグラス	プランクソン横線枠付スライドグラス
70	図5.9 左から2枚目の写真下	<i>Ade I</i>	<i>Dde I</i>
71	7行目	<i>Pratylench</i>	<i>Pratylench-</i>
75	1行目	Vanfleteren.	Vanfleteren,
75	18行目	Faghihi	Faghihi,
75	25行目	(1997).	(1997)
75	2行目	Mackey. L. Y,	Mackey, L. Y.,
75	2行目	Dorris.	Dorris,
75	2行目	Frisse.	Frisse,
75	2行目	Vida.	Vida,
75	2行目	Thomas.	Thomas,
75	8行目	Phytpathology	Phytopathology
76	3行目	土先常男	土崎常男
76	8行目	日線誌	日線虫誌
76	17行目	441-45.	441-450.
76	20行目	Smith.	Smith,

「線虫学実験法」正誤表 (2/4)

第6章

ページ	行/表/図	誤	正
82	10行目	i 番目に i 頭の線虫が続いて検出される確率	i 頭の線虫が検出される確率
82	10行目	P_i	P_i (i は下付き)
82	式1.2.1b	$P_i = [(k+(i-1))/I] \cdot [\bar{x}/(\bar{x}+k)] \cdot P_{(i-1)}$	$P_i = [(k+(i-1))/i] \cdot [\bar{x}/(\bar{x}+k)] \cdot P_{(i-1)}$
82	式1.2.2b	S (2箇所)	s (小文字イタリック)
83	10行目	$n = [(CV/100) \cdot E]^2$	$n = [CV/(100E)]^2$
83	10行目	$n = [t_{0.05[n-1]}(CV/100) \cdot D]^2$	$n = [t_{0.05[n-1]}CV/(100D)]^2$
83	式1.2.3a	$n = t_{\alpha}^2(1/\bar{x}+1/k)D^2$	$n = t_{\alpha}^2(1/\bar{x}+1/k)/D^2$
83	表6.1表題	50%または100%	50%, 75%または100%
84	2行目	8.96を得	8.89を得
84	3行目	実際は $t=2.032$	実際は $t=2.030$
84	4行目 行頭	8.96	8.89
84	4行目	$2^2/(1/37+1/8.96) \times (0.25)^2 = 8.9$	$2^2 \times (1/37+1/8.89)/0.25^2 = 8.9$
84	6行目	$D = 2 \times [(1/37+1/8.96)/36]^{1/2} = 0.124$	$D = 2 \times [(1/37+1/8.89)/36]^{1/2} = 0.125$
84	表6.2		(別紙の通り)
86	式1.2.3e	$t_{\alpha/2}$	t_{α}
93	下から8行目	シラキユース時計皿	シラキユース時計皿
95	下から9行目	比重1.40のショ糖水溶液もしくはチオ硫酸ナトリウムの	比重1.23のショ糖水溶液もしくは1.40のチオ硫酸ナトリウムの
96	13行目および下から12行目	シラキユース時計皿 (2箇所)	シラキユース時計皿
96	下から1および4行目	抱水クロラール (2箇所)	抱水クロラール
97	下から11行目	シラキユース時計皿	シラキユース時計皿
100	下から12および16行目	酪酸 (2箇所)	乳酸
101	1行目	シラキユース時計皿	シラキユース時計皿
101	下から16行目	抱水クロラール	抱水クロラール
103	15行目	図6.10	図6.9
107	9行目、19行目	インゲン (2箇所)	インゲンマメ
111	7行目	シラキユース時計皿	シラキユース時計皿
111	下から3および5行目	インゲン豆 (2箇所)	インゲンマメ
112	16行目	<i>P. wlnus</i>	<i>P. vulnus</i>
112	19行目および下から14行目	シラキユース時計皿 (2箇所)	シラキユース時計皿
113	下から10行目	シラキユース時計皿	シラキユース時計皿
116	表6.5 保存液2	$CaCl_2 \cdot 2H_2O$	$CaCl_2 \cdot 2H_2O$
116	表6.5 保存液4 Co...成分量	0.25 mg	0.10 mg
116	表6.5 保存液4 Cu...成分量	0.25 mg	0.20 mg
116	表6.5 保存液4 Na...成分量	2.50 mg	0.10 mg
119	10行目	<i>Fsarium solani</i>	<i>Fusarium solani</i>
120	表6.6 保存液A	KCL	KCl
121	表6.7 保存液B	Na_2EDTA	$Na_2EDTA \cdot 2H_2O$
122	23行目	指に付着しない	指が付着しない
131	11行目	インゲン	インゲンマメ
131	参考文献8行目	Stages.	stages.
133	21行目	線虫見分け方	線虫の見分け方
133	下から10行目	シストの分離	シストの分離.

第7章

ページ	行/表/図	誤	正
141	11行目	グリセン	グリセリン
148	16行目	<i>Monirina</i>	<i>Monilinia</i>
151	29行目	唇口腔壁	唇口腔壁

第8章

ページ	行/表/図	誤	正
155	図8.1表題	昆虫寄生線虫	昆虫寄生性線虫
155	図8.1 解説3行目	昆虫寄生線虫	昆虫寄生性線虫

「線虫学実験法」正誤表 (3/4)

第9章

ページ	行/表/図	誤	正
166	13行目	ピチュウム	ピシウム
168	写真9.1表題	<i>Apelenchus</i>	<i>Aphelenchus</i>
168	写真9.1 3行目	<i>solani</i> AG-4	<i>solani</i> AG-4 (スペースを挿入)
169	写真9.2表題	<i>Apelenchus</i>	<i>Aphelenchus</i>
170	表9.1	<i>F. osysporum</i>	<i>F. oxysporum</i>
172	下から3行目	<i>japonicus</i>	<i>japonica</i>
178	13行目	<i>Xenonhadus poinai</i>	<i>Xenorhabdus poinarii</i>
186	1行目	vorous nematodes.	(削除)
186	11行目	昆虫寄生性線虫性線虫	昆虫寄生性線虫
186	下から4-5行目	Temperature on Growth and Propagation	temperature on growth and propagation
186	下から7行目	Tanabea	Tanabe

第10章

ページ	行/表/図	誤	正
194	17行目の下	(行を挿入)	(白山義久)
194	最下段	296p.	296pp.

第11章

ページ	行/表/図	誤	正
214	2-3行目	Modern Biological Analysis of an Organism.	Modern biological analysis of an organism.

第12章

ページ	行/表/図	誤	正
222	16-17行目	震とう	振とう
223	下から13行目	PF2	pF2
231	参考文献1行目	<i>Pastenria</i>	<i>Pasteuria</i>
232	1行目	Galloway J.,	Galloway, J.,
232	15行目	<i>Pastenria</i>	<i>Pasteuria</i>
232	16行目	Nematalogy	Nematology
232	23行目	生育調剤開発利用マニュアル	生育調節剤開発利用マニュアル

索引ほか

ページ	行/表/図	誤	正
233	索引"い"	遺伝子破壊法 213	遺伝子破壊法 212
233	索引"い"	移動性内部寄生性種	移動性内部寄生種
233	索引"い"	糸状虫	("し"の項に移動)
233	索引"い"	糸片虫型	("し"の項に移動)
233	索引"い"	インキュベーション法 96	インキュベーション法 97
235	索引"く"	唇口腔、唇乳頭、唇盤	(削除)
236	索引"さ"	蝸室	("よ"項に移動→"よ"項新設)
236	索引"し"	下田不知系品種	("け"項に移動)
237	索引"し"	ショウジョウバエ 258, 162	ショウジョウバエ 158, 162
240	索引"こ"	二層遠心浮遊法 87, 88, 90, 123, 226	二層遠心浮遊法 87, 88, 90, 227
240	索引"こ"	(項目を挿入)	二層遠心分離法 123
240	索引"は"	<i>pnetrans</i>	<i>penetrans</i>
241	索引"ひ"	ピチュウム	ピシウム
242	索引"ほ"	抱水クロラール 101	抱水クロラール 96, 101
242	索引"ほ"	ボディープラン 25	ボディープラン 2, 25
242	索引"ほ"	ホルマリン・酢酸固定液 ホルマリン・プロピオン酸固定液	ホルマリン・酢酸(プロピオン酸)固定液
242	索引"み"	ミキサー法 94, 95, 119	ミキサー法 94, 119
244	索引"D"	<i>Demoscolex</i>	<i>Desmoscolex</i>
245	索引"M"	<i>Meloidigyne</i>	<i>Meloidogyne</i>
246	索引"X"	<i>japonicus</i>	<i>japonica</i>
246	索引"X"	<i>poinari</i>	<i>poinarii</i>
奥付	発行日の上	線虫学実験書(初版のみ)	線虫学実験法

「線虫学実験法」正誤表 (4/4)

p.84 表6.2下段

	サツマイモネコブセンチュウ		キタネグサレセンチュウ
	2001年4月	2003年4月	2003年4月
標本数	36	27	42
平均値 (\bar{x})	37	51	13
標準偏差 (s)	14	28	35
分散 (s^2)	191	797	1191
変動係数 (CV)	38%	55%	269%
集中計数 (k)	8.89	3.49	0.14
現在の精度% (D)	12%	21%	82%
精度25%の期待標本サイズ	9	20	451